

# 薬品用アンプル封止放射温度計

- 定量的に管理基準を設けることが可能
- ガラスの吸収波長 ( $5\mu\text{m}$ ) で測定可能

薬液を封入するために使用されるアンプルは無菌状態で充填後ガスバーナーにて先端を加熱し溶かして引き延ばすことで熔閉します。

アンプル熔閉装置は1本ずつ簡易的に処理する物と自動化された装置があります。自動化装置の場合はライン稼働時に熟練者がアンプルの熔融状態を確認しながらバーナーの火力調整を行います。

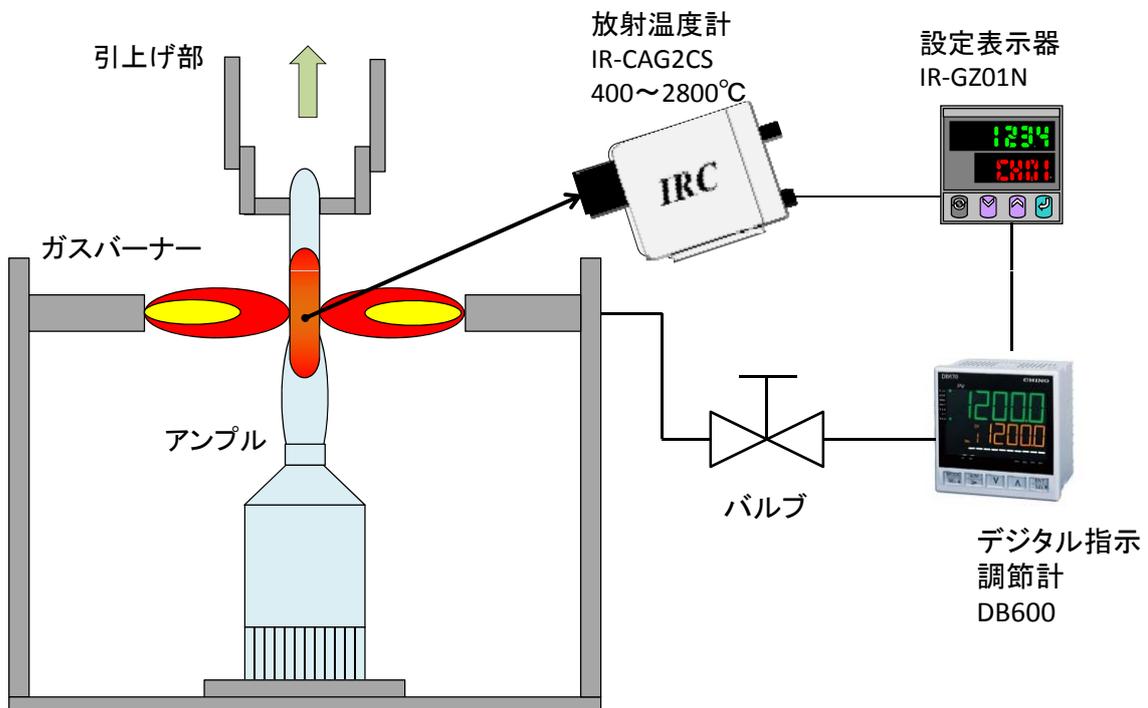
## ■ 導入効果

- 定量的に管理基準を設けることで製品の品質向上
- 熟練作業でなくても火力調整が可能

## ■ 商品の特長

- 石英ガラス不透明領域のためガラス温度測定が可能
- 測定波長が $5\mu\text{m}$ のためガスバーナー( $\text{CO}_2$ ,  $\text{H}_2\text{O}$ )の影響が少なく測定が可能
- 距離係数が大きいいため小径測定が可能

## ■ アプリケーション例



＜放射温度計の仕様＞  
形 式：IR-CAG2□S  
測定波長： $5\mu\text{m}$   
距離係数：200  
測定範囲： $400\sim 2800^\circ\text{C}$

管理温度：約 $800^\circ\text{C}$   
アンプルサイズ： $\phi 6\text{mm}$   
測定距離： $\phi 2.5/500\text{mm}$   
ガラス厚み： $1\text{mm}$